

漢字の成り立ち

漢字：：今から三千年以上前に、中国で生まれた

。最初は物の形や様子などを絵のようにえがいて表した



だんだん変化して、今のような形になった

。漢字を組み合わせるにより新しい漢字が次々と作られた

漢字の成り立ち

① 象形文字

目に見える物の形を具体的にえがいた

例 馬、山、門、火、手、川、羊、雨など

② 指事文字

目に見えない事からを印や記号を使って表した

③ 会意文字

例 一、二、三、上、下、中、本、未など

漢字の意味を組み合わせたもの

④ 形声文字

音(読み方)と意味を表す部分を組み合わせたもの

例 草、持、晴、編、格、銅など

漢字の中でいちばん数が多い

◎ 漢字辞典には「成り立ち」がのっています。

①②の漢字を調べるほかに、自分の名前に使われている漢字の成り立ちを調べてみましょう。